

# < 薬剤需給状況調査結果 >

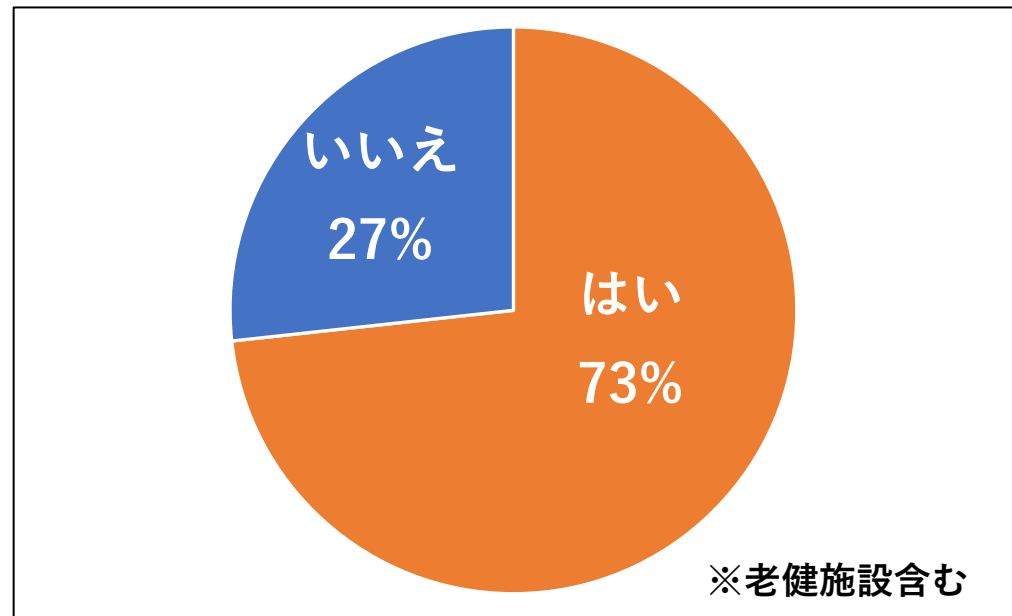
調査期間：R5/7/12～7/24  
対 象：会員医療機関1,299件  
回 答 数：505件（回答率38.9%）

## 1. 貴院について

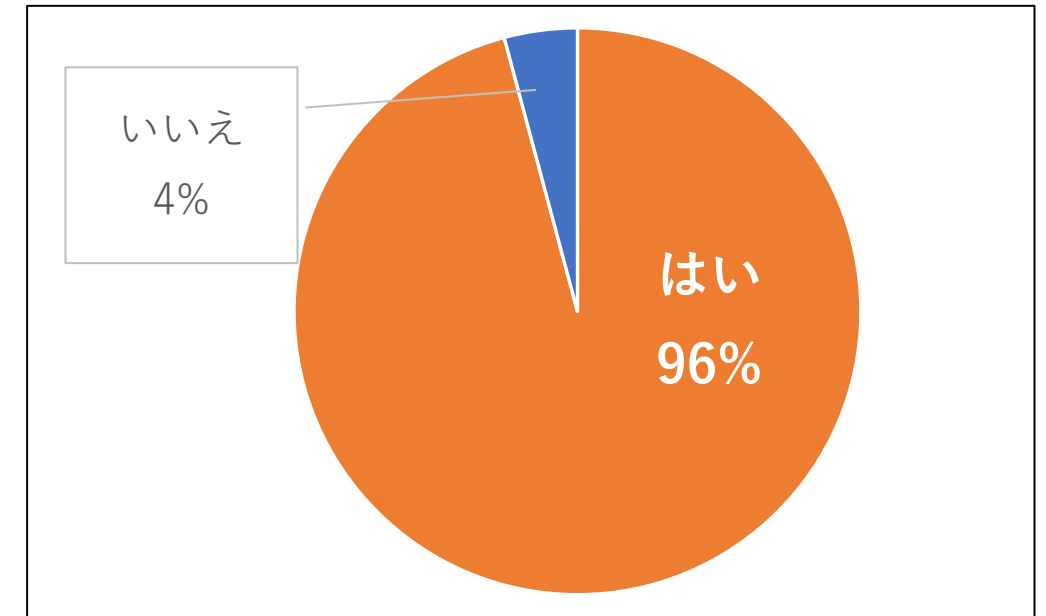
診療所432件・病院71件・老健施設2件

## 2. 入手不可あるいは供給不安定により処方が困難な薬剤があるか

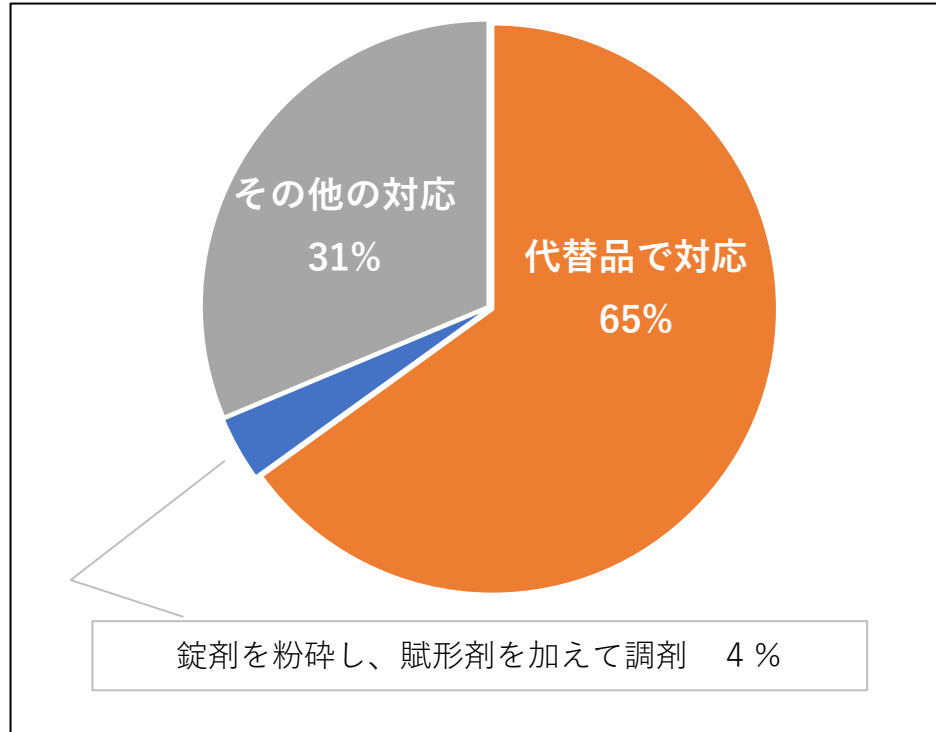
### 【診療所】



### 【病院】



### 3.薬剤の不足が生じた際の対応について



#### ※その他の対応 <抜粋>

- ・処方できない。
- ・処方制限や代替品(規格違い・剤型違い等)で対応。
- ・ジェネリックがない場合は先発品、先発品がない場合はジェネリックで了承を得て処方。
- ・都度、入荷できるメーカーを探して対応。入手不可の場合は処方中止。
- ・残薬を確認し、処方日数を変更。
- ・ミリ数の違うものがある場合は分割して処方。
- ・薬局に探してもらう。
- ・院内処方を院外処方として対応した。
- ・問屋に頼み込み1箱調達できた。
- ・卸によっては入手できるため、卸を変更した。

### 4.卸売会社等による供給不安定の理由

- ・原薬の調達困難、他社製品の供給制限、コロナによる需要増。
- ・製薬会社の製造管理や品質管理体制の不備による出荷制限から、他社の同効薬に供給量を上回る注文が発生し、出荷規制となる。
- ・トルリシティについては需要に供給が追いついていない。
- ・薬価が安いので、増産しても収益がないので、増産しない。
- ・海外製造所での製造過程に改善の必要があるため。
- ・不妊治療への保険適用に伴う需要拡大。

## 5. 処方困難な薬剤についての回答

※薬剤は、剤形、含量が異なる場合も同一薬剤として集計し、「入手不可」との回答が多い順に記載

※供給不安定となった時期について、複数の医療機関より異なる年月の回答があったものは、最も古い時期を記載

薬剤名	製薬会社名	件数	先発	後発	供給不安定となった時期		現在の状況	
					年	月	入手不可	供給不安定
フスコデ	マイラン	50	26	5	2021		19	28
PL	塩野義	29	20		2022	7	18	10
トランサミン	第一三共	51	37	8	2022	1	15	32
アダラート	バイエル	28	18	1	2023	1	13	15
カロナール	あゆみ	41	12	17	2021	3	12	25
ウロナーゼ	持田	12	7		2021	10	12	
テプレノン	沢井、エーザイ	12	2	12	2023	6	12	
カルボシステインシ	東和薬品	35	2	29	2021	11	11	21
トルリシティ	日本イーライリリー	31	27		2023	1	11	16
アスピリン	ニプロ	29	16	4	2021	11	11	15
クラバモックス	グラクソスミスクライン	17	10		2023	5	11	5
メジコン	塩野義	47	33	5	2021		10	35
ブスコパン	サノフィ	11	9		2021	9	9	1
フスタゾール	ニプロ	15	9	4	2022	6	8	7
葛根湯	ツムラ	28	19	1	2021	1	7	21
トラネキサム酸	陽進堂、東和薬品、YD	26	6	18	2021	4	7	16
コントミン	田辺三菱、吉富薬品	20	16	2	2022	1	7	11
メロペネム	沢井、ニプロ、明治製菓	15	1	15	2021		7	9
トリプタノール	日医工	18	11	2	2022		7	6
ビペリデン	吉富薬品、田辺三菱	12		10	2022	12	7	4
アドソルビン	アルフレッサ、ニプロ	11	8	2	2021		7	4
プランルカスト	日医工、東和薬品	11	1	8	2021	1	7	3
キシロカイン	サンド	28	23		2023	1	6	19
シナール	塩野義	16	12	1	2022	9	6	8
ニフェジピン	沢井、日医工	16	2	11	2022	3	6	8
シダキュア	鳥居薬品	12	8		2023	4	6	6
デキストロメトルファン	ニプロ、東和薬品	11		10	2021	3	6	5
ピーエイ	全星薬品	12	3	4	2022	7	6	4
セルベックスカプセル	EAファーマ、エーザイ	10	9	1	2023	5	6	4
漢方薬全般	ツムラ・クラシエ	11	7	2	2022		5	7
ワイスターール	ニプロ	9		9	2020		5	4
ナウゼリン	協和キリン	8	6		2022	8	5	3
芍薬甘草湯	ツムラ他	29	24		2022	9	4	23
ムコダイン	杏林、マイラン	25	15	3	2022	10	4	18
ワイドシリン	明治製菓	16	5	3	2023	4	4	8
メイアクト	明治製菓	12	6		2023	6	4	8
アンブロキシソール塩酸塩	沢井、武田	12		10	2021	8	4	7

## 5. 処方困難な薬剤についての回答

※薬剤は、剤形、含量が異なる場合も同一薬剤として集計し、「入手不可」との回答が多い順に記載

※供給不安定となった時期について、複数の医療機関より異なる年月の回答があったものは、最も古い時期を記載

薬剤名	製薬会社名	件数	先発	後発	供給不安定となった時期		現在の状況	
					年	月	入手不可	供給不安定
SG	塩野義	11	9		2022	6	4	6
セフジトレンピボキシル	沢井、大蔵、明治製薬、東和薬品	8	1	6	2023	1	4	4
セレキノ	田辺三菱	8	5	1	2021	11	4	3
セフトリアキソンNa	ファイザー、ニプロ、ヴィアトリス	5	2	3	2022	12	4	1
セフカペンピボキシル	沢井、東和薬品	5		5	2023	4	4	1
エチゾラム	アメル、日医工、アルフレッサ、沢井	4		3	2022	1	4	
カフコデ	ファイザー	4	3		2022	1	4	
ノイロピタン	LTLファーマ	4	3	1	2023	6	4	
ホクナリンテープ	ヴィアトリス、ファイザー	13	10	1	2022	8	3	10
HMG	フェリングファーマ	9	4	1	2022	3	3	6
アストミン	オーファンパシフィック	5	3		2022	8	3	2
麻黄湯	ツムラ	5	4		2022		3	2
カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム	日医工、陽進堂、フジナガ	4	1	4	2023	3	3	2
セレスタミン	高田	6	4		2022		3	1
チャンピックス	ファイザー	3	3		2020	1	3	
テルミサルタン	辰巳化学	3		3	2020	12	3	
オラペネム	明治製薬	3	3		2023	5	3	
生食注シリンジ	大塚	7	1	4	2022		2	5
抗生剤全般		5	4	4	2023	4	2	5
ムコソルバン	帝人ファーマ	10	6	2	2022		2	4
小青竜湯	ツムラ他	7	4	1	2022		2	3
デュファストン	ヴィアトリス、マイラン	4	3		2022	5	2	2
リンコデ	武田薬品	4	1		2023	5	2	2
ガランターゼ	ニプロ	4	3		2021	10	2	2
ジェニナック	アステラス	4	2		2023	6	2	2
オロパタジン	明治製薬、ファイザー、東和薬品	4		3	2021	3	2	1
インスリンリスプロソロスター	サノフィ	4	1	3	2023	6	2	1
スルペラゾン	ファイザー	3	2	1	2022	9	2	1
ブルフェン		3	2		2022	9	2	1
ルティナス	フェリング	3	2		2023	1	2	1
アレグラ	サノフィ	3	2	1	2023	3	2	1
シルニシピン	沢井	3		2	2023	4	2	1
プラビックス	サノフィ	3	3		2022		2	1
ユナシン	ファイザー	3	3	1	2023	5	2	1
アレロック	協和キリン	2	2		2020		2	
亜鉛華単軟膏	マイラン、ホエイ	2		2	2022	7	2	
カリジノゲナーゼ	日医工、沢井	2		2	2022	7	2	
ザイロリック	グラクソスミスクライン	2	2		2022	8	2	

## 5. 処方困難な薬剤についての回答

※薬剤は、剤形、含量が異なる場合も同一薬剤として集計し、「入手不可」との回答が多い順に記載

※供給不安定となった時期について、複数の医療機関より異なる年月の回答があったものは、最も古い時期を記載

薬剤名	製薬会社名	件数	先発	後発	供給不安定となった時期		現在の状況	
					年	月	入手不可	供給不安定
セフロニック	日医工	2		2	2022		2	
アゼルニジピン	ニプロ	2		2	2023	1	2	
ピーゼットシー		2	2		2022		2	
セドリーナ	アルフレッサファーマ	2	1		2023	5	2	
デノシン	田辺三菱	2	2		2022	10	2	
ジスロマック	ファイザー	2	2		2023	6	2	
麦門冬湯	ツムラ	10	9		2022	6	1	8
フロモックス	塩野義	8	7	1	2023	5	1	7
オーグメンチン	グラクソスミスクライン	7	4		2023	6	1	5
ツイミーグ	住友ファーマ、大日本	7	7		2023	4	1	5
オノン	小野薬品	6	4		2021		1	5
コルドリン	日本新薬	7	6	1	2022	3	1	4
セフメタゾールNa	ニプロ、日医工	5	1	4	2021		1	4
アスパラカリウム	ニプロ	5	3		2022		1	4
ヘパリンロック	大塚、ニプロ	5	1	3	2022		1	4
メロペン	住友ファーマ	4	2	1	2023	1	1	4
八味地黄丸	ツムラ	5	3		2023	2	1	3
エルネオパ	大塚	5	3		2023	6	1	3
レスプレン	太陽ファルマ	4	2	1	2023	1	1	3
ロキソプロフェン	沢井、日医工	4		4	2021	8	1	3
ラエンネック		4	3		2022	10	1	3
四物湯	クラシエ、ジュンコウ、ツムラ	4	1		2022		1	3
セファメジン	LTLファーマ	3	3				1	3
オメブラゾール	ニプロ	4		1	2022	2	1	2
ヘパリン類似物質ローション	ニプロ、持田	4		2	2023	2	1	2
リザベン	キッセイ	3	3		2022	9	1	2
デカドロン	サンド、日医工	3	2		2022	6	1	2
メルスモン	メルスモン	3	2		2023	2	1	2
フェキソフェナジン		3		3	2023	5	1	2
コデインリン酸塩	中北薬品	3	1	2	2023	3	1	2
モサプリド	ニプロ	3		3	2023	6	1	2
グルコンサンK	サンファーマ	5	2	1	2022		1	1
オゼックス	富士フィルム	3	2		2023	5	1	1
アルプラゾラム	沢井	2		2	2021	8	1	1
ネリザ	ジェイドルフ	2		1	2021	8	1	1
クエン酸第一鉄	沢井	2		2	2021	9	1	1
ルボックス	アヅヴィ	2	2		2021	12	1	1
トリヘキシフェニジル	タカダ、アトル	2		1	2022	5	1	1

## 5. 処方困難な薬剤についての回答

※薬剤は、剤形、含量が異なる場合も同一薬剤として集計し、「入手不可」との回答が多い順に記載

※供給不安定となった時期について、複数の医療機関より異なる年月の回答があったものは、最も古い時期を記載

薬剤名	製薬会社名	件数	先発	後発	供給不安定となった時期		現在の状況	
					年	月	入手不可	供給不安定
フィニボックス	塩野義	2	2		2022	8	1	1
クロフェドリン	キョーリンメディオ	2		1	2022	9	1	1
メコバラミン	ニプロ	2		1	2022	9	1	1
イトラコナゾール	沢井	2		1	2022	10	1	1
SPTローチ	明治製菓、アステム	2	1	1	2022	12	1	1
アスパラギン酸カリウム	テルモ	2		2	2023	1	1	1
バルネチール	共和薬品	2	1		2022		1	1
ヒアルロン酸na	明治製菓	2		2	2023	3	1	1
マキュエイド	わかもと	2	1		2023	4	1	1
桂枝茯苓丸	クラシエ	2	1		2023	5	1	1
ピサコジル	アステム	2		1	2023	5	1	1
アミトリプチリン		2	1	2	2023	6	1	1
エナルモンデポー	あすか製薬	2	2		2023	6	1	1
ビタミン剤		2	1	1	2023		1	1
ニポラジン		1	1		2023	4	1	1
ハイシー		1	2		2023	4	1	1
パンスポリン	武田デバ	1	1				1	1
アーテン		4	2	1	2022	12	1	
ファムビル		2	1		2022	5	1	
イブプロフェン	ツルハラ	2		1	2022	8	1	
ミカムロ	ペーリンガーインゲルハイム	2	1	1	2022	12	1	
メスチノン	共和薬品	2	1		2023	4	1	
フルスルチアミン	トーワ	2		1	2023	6	1	
アキネトン		2	1	1	2023		1	
アモキシサンカプセル	ファイザー	1	1		2023	2	1	
アンヒバ		1	1		2021	3	1	
ガスロンN イルソグラジンマレイン酸	日本新薬	1	1	1	2021	6	1	
セバミット	日本ジェネリック	1	1		2021	10	1	
フェルム		1		1	2022	1	1	
リザトリプタン	翔葉	1			2022	1	1	
L-アスパラギン酸	沢井	1		1	2022	3	1	
トラニラスト	武田薬品	1		1	2022	3	1	
スプレキュア	富士	1	1		2022	4	1	
クエチアピン	各社	1		1	2022	5	1	
トローチ		1	1		2022	5	1	
フラビタン	トーアエイヨー	1	1		2022	5	1	
レスタス	日本ジェネリック	1	1		2022	5	1	
エペリゾン塩酸塩	全て	1		1	2022	9	1	

## 5. 処方困難な薬剤についての回答

※薬剤は、剤形、含量が異なる場合も同一薬剤として集計し、「入手不可」との回答が多い順に記載

※供給不安定となった時期について、複数の医療機関より異なる年月の回答があったものは、最も古い時期を記載

薬剤名	製薬会社名	件数	先発	後発	供給不安定となった時期		現在の状況	
					年	月	入手不可	供給不安定
オステラック	あすか	1	1		2022	9	1	
エナラプリルマレイン酸塩	共和薬品工業	1		1	2022	12	1	
チニダゾール		1	1		2022	12	1	
テラムロ		1		1	2022	12	1	
トーワチーム	トーワ	1		1	2022		1	
トリアゾラム	アステム	1			2022		1	
ビオチン	扶桑	1	1		2022		1	
メチコパール	エーザイ	1			2022		1	
ラベプラゾールNa	サンド	1		1	2022		1	
オルセノン	サンファーマ	1	1		2023	1	1	
ノアルテン	富士製薬	1	1		2023	1	1	
フェリング	フェリングファーマ	1	1		2023	1	1	
セフォン	日医工	1		1	2023	3	1	
ミルタックス	第一	1	1		2023	3	1	
リマチル	あゆみ・日医工	1	1	1	2023	3	1	
ウインタミン	共和薬品工業	1	1		2023	4	1	
人免疫グロブリン製剤		1	1		2023	4	1	
フェロベリン	日本ジェネリック	1	1		2023	4	1	
アテノロール	ファイザー	1		1	2023	5	1	
クレマスチン		1		1	2023	5	1	
ジアイナ		1		1	2023	5	1	
ダイメジン3B	日医工	1		1	2023	5	1	
トミロン		1	1		2023	5	1	
防己黄耆湯	大杉製薬	1			2023	5	1	
リドカイン	サンドファーマ	1			2023	5	1	
ジアゼパム	鶴原	1		1	2023	6	1	
滋陰降火湯	ツムラ	1	1		2023	6	1	
スピロラクトン	武田薬品	1		1	2023	6	1	
ゾルピデム	武田テバ	1		1	2023	6	1	
トスフロキサシントシル酸塩	明治製薬	1		1	2023	6	1	
ナファモスタット	旭化成	1		1	2023	6	1	
ノリトレン	住友ファーマ	1	1		2023	6	1	
ノルディトロピン	ノボノルディスク	1	1		2023	6	1	
ブチルスコポラミン		1		1	2023	6	1	
フロジン		1		1	2023	6	1	
アンプリット	第一三共	1	1		2023	7	1	
献血グロベニン		1			2023	7	1	
ザジテン		1		1	2023	7	1	

## 5. 処方困難な薬剤についての回答

※薬剤は、剤形、含量が異なる場合も同一薬剤として集計し、「入手不可」との回答が多い順に記載

※供給不安定となった時期について、複数の医療機関より異なる年月の回答があったものは、最も古い時期を記載

薬剤名	製薬会社名	件数	先発	後発	供給不安定となった時期		現在の状況	
					年	月	入手不可	供給不安定
シューナック		1			2023	7	1	
シロドシン	第一三共	1		1	2023	7	1	
マンジェロ	田辺三菱、イーライリリー	1	1		2023	7	1	
メナテトレノン	陽進堂	1		1	2023	7	1	
レプリントン		1			2023	7	1	
サイレース		1			2023		1	
鎮咳約各種	各メーカー	1	1	1	2023		1	
ペントナ		1			2023		1	
キャブピリン	武田薬品	1	1		不詳		1	
タケルダ	武田薬品	1	1		不詳		1	
去痰薬各種	住友フォーマ	1	1	1	不明		1	
アルファカルシドール	共和薬品	1		1			1	
アレギサール	ニプロ	1					1	
キシレステシンa	3M	1	1				1	
サアミオン	田辺三菱	1	1				1	
チェクール		1		1			1	
ニコチネルTTS	グラクソスミスクライン	1	1				1	
マイトマイシンC	協和キリン	1	1				1	
メインテート	田辺三菱	1	1				1	
メドロキシプロゲステロン		1					1	
グリファーゲン		1			2023	6	1	
清肺湯	ツムラ	1	1		2023	6	1	
防風通聖散	ツムラ、クラシエ	6	5		2022	11		6
HCG	富士、持田	5	2	1	2023	1		5
サワシリン	LTLファーマ、レイレ	7	3	1	2023	6		4
ロキソニン	第一三共	4	3	1	2022	8		4
ミノサイクリン	沢井、日医工	4		4	2023	3		4
エクラープラスター	久光	4	3		2023	7		4
ツロプテロールテープ・塩酸塩	久光、高田	4		3	2023	6		3
アセトアミノフェン	三和	3		2	2022	5		3
セフォセフ	沢井、ニプロ、日医工	3		3	2022	8		3
クロピドグレル	日医工	3		3	2022	9		3
タゾピペ	ニプロ	3		3	2022	10		3
ガスコン	キッセイ薬品	3	1	1	2023	4		3
小柴胡湯加桔梗石膏	ツムラ	2	1		2022	7		2
アロプリノール	住友ファーマ、杏林	2		1	2022	9		2
ドパコール	扶桑	2		2	2022	10		2
ラシックス	日医工	2	1		2022	10		2



## 5. 処方困難な薬剤についての回答

※薬剤は、剤形、含量が異なる場合も同一薬剤として集計し、「入手不可」との回答が多い順に記載

※供給不安定となった時期について、複数の医療機関より異なる年月の回答があったものは、最も古い時期を記載

薬剤名	製薬会社名	件数	先発	後発	供給不安定となった時期		現在の状況	
					年	月	入手不可	供給不安定
ヒベルナ	田辺三菱	2	2		2022	12		2
オペガンハイ	参天	2	2		2023	1		2
アジスロマイシン	沢井	2		2	2023	2		2
ウルソデオキシコール酸	日本ジェネリック、テバ	2		2	2023	3		2
クラリスロマイシン		2		2	2023	3		2
KCL注キット	テルモ	2	1	1	2023	3		2
デキサート	富士	2		1	2023	3		2
ビタメジン	アルフレッサ	2	2		2023	3		2
フォリルモンP	富士	2	2		2023	3		2
献血ヴェノグロブリン	日本血液製剤機構	2	2		2023	4		2
セフトアジジム	ニプロ、CHM	2	1	1	2023	4		2
エクロックゲル		2	1		2023	6		2
グルカゴンG	ノボノルディスクファーマ	2	2		2023	7		2
FSH	フェリング、あすか	2			2023			2
テグレート	田辺三菱	2	2					2
タケプロン	武田テバ	2			2023	1		1
ベラチン	ニプロ	2	1		2023	7		1
セフメタゾン		2		1				1
ヘパリンカルシウム	持田	1		1	2021	8		1
ランソプラゾール	武田テバ	1		1	2021	10		1
ベザフィブラートS	沢井	1		1	2021	12		1
エピナスチン塩酸塩	沢井	1		1	2021			1
イルアミクス	住友ファーマ	1		1	2022	1		1
イルベサルタン	住友ファーマ	1		1	2022	1		1
ジピリダモール	長生堂	1		1	2022	1		1
トアラセット	マイラン	1		1	2022	1		1
ペントキシベリン	ツルハラ	1		1	2022	4		1
セトロタイド	メルクバイオフファーマ	1	1		2022	8		1
ポピヨドン	吉田	1			2022	8		1
オメガシン	明治製菓ファルマ	1	1		2022	9		1
抑肝散加陳皮半夏	クラシエ	1			2022	11		1
グラッシュビスタ	アラガン	1	1		2022			1
半夏白朮天麻湯	オースギ	1			2022			1
エパデール		1		1	2023	1		1
sa	アステム	1		1	2023	1		1
ジメチコン	陽進堂	1		1	2023	1		1
スマトリプタン	SPKK	1		1	2023	1		1
タゾピペ	DSEP	1	1		2023	1		1

## 5. 処方困難な薬剤についての回答

※薬剤は、剤形、含量が異なる場合も同一薬剤として集計し、「入手不可」との回答が多い順に記載

※供給不安定となった時期について、複数の医療機関より異なる年月の回答があったものは、最も古い時期を記載

薬剤名	製薬会社名	件数	先発	後発	供給不安定となった時期		現在の状況	
					年	月	入手不可	供給不安定
チエナム	MSD	1	1		2023	1		1
ヒーロン	AMO、千寿	1			2023	1		1
ベリチーム		1	1		2023	1		1
ムコサル	サノフィ	1		1	2023	1		1
ワンクリノン	メルクバイオフーマ	1	1		2023	1		1
ゾルミトリプタン	日医工	1		1	2023	3		1
フルタゾール	ニプロ	1	1		2023	3		1
エタネルセプト		1		1	2023	4		1
サラゾスルファピリジン	長生堂	1	1		2023	4		1
ソリタT2		1			2023	4		1
ディクアノン	日新	1	1		2023	4		1
マプロチリン	共和薬品	1		1	2023	4		1
ミドドリン	沢井	1		1	2023	4		1
メキシチールカプセル	太陽ファルマ	1	1		2023	4		1
桔梗湯	ツムラ	1	1		2023	5		1
オルガドロ	サンドファーマ	1		1	2023	6		1
献血アルブミン	武田薬品	1			2023	6		1
ゾシン注		1		1	2023	6		1
タムスロシン	日医工	1		1	2023	6		1
ヒルドイド	マルホ	1	1		2023	6		1
プルセニド	サンファーマ	1	1		2023	6		1
メキシレチン		1		1	2023	6		1
メクロプラミド	鶴原	1		1	2023	6		1
メトホルミン塩酸塩	ニプロ	1		1	2023	6		1
ロラゼパム	沢井	1		1	2023	6		1
スルバシリン	明治製菓	1		1	2023	7		1
セブントレンピボキシル	西部沢井	1		1	2023	7		1
トリクロルメチアジド	日医工	1		1	2023	7		1
ドレニゾンテープ	住友ファーマ	1	1		2023	7		1
ビクシリン	明治製菓	1	1		2023	7		1
ヘパクラッシュ	テルモ	1			2023	7		1
マグミッド	日本新薬	1		1	2023	7		1
ミノマイシン	ファイザー	1	1		2023	7		1
アトーゼット		1	1		2023			1
グリクラジド	沢井	1		1	2023			1
リシノプリル	沢井	1		1	2023			1
アーチスト	第一三共	1						1
アイミクス	住友ファーマ	1						1

## 5. 処方困難な薬剤についての回答

※薬剤は、剤形、含量が異なる場合も同一薬剤として集計し、「入手不可」との回答が多い順に記載

※供給不安定となった時期について、複数の医療機関より異なる年月の回答があったものは、最も古い時期を記載

薬剤名	製薬会社名	件数	先発	後発	供給不安定となった時期		現在の状況	
					年	月	入手不可	供給不安定
アジルサルタン	武田テバ	1		1				1
インタール	サノフィ	1	1					1
エクセラージェ	明治製菓	1						1
キネダック	アルフレッサ	1						1
ケンエー浣腸	健栄製菓	1	1					1
コニール	協和キリン	1						1
スターシス	アステラス	1	1					1
ソラナックス	ヴィアトリス	1						1
竹茹温胆湯	ツムラ	1	1					1
デトルシロール	ヴィアトリス	1						1
デンファストン	ヴィアトリス	1						1
ネオラミンスリーピー		1		1				1
ハイボン	ニプロ	1						1
ヒスロン	協和キリン	1	1					1
プラバスタチン	杏林	1		1				1
フロセミド	ニプロ	1		1				1
プロベラ	ファイザー	1	1					1
ベクロメタゾン	住友ファーマ	1						1
ボグリボース	テバ	1		1				1
レボセチリジン		1		1				1
ロペミン	ヤンセンファーマ	1						1
イコサパント酸エチル	日医工	1		1	2022	1		1
ゼスラン		1			2023	5		1
ルジオミール	サンファーマ	8	6					
ピンプロ		1			2021			
桔梗湯		1			2023	5		
イミグラン		1						
イルソグラジン		1						
オキサトミド		1						
クロルプロマジン		1						
デパケン		1						
トラコロン		1						
ピレチア		1	1					
フルマリンキット		1	1					

## 6. その他、薬剤の供給状況についての意見 ※抜粋

他社製品への切り替えを検討しても購入実績がないため、納入できないと言われる。メーカーからの適切な案内がない(理由がわからないケースが多い)。新規採用したい薬剤が供給制限により購入できない(処方したくても薬がない)。入荷のタイミングが予測できない。代替品を提案されても購入できない。

患者さんへの説明資材があるとありがたい。

2021年10月頃から、ジェネリックメーカーの供給不安定から始まり、現在に至っている。都度、代替品に切り替える等対応してきたが、代替品も限定出荷のため、新規購入できないことも多く、毎日綱渡り状態が続いている。ジェネリックの薬価が下がりすぎ不採算の医薬品も多くあるとのこと。一年一回の薬価改定についても議論のあるところで、一刻も早く、国が安定供給に向けての仕組みを構築して欲しい。

いつになれば改善されるのか目途を報告してもらいたい。全てがグレー!!

多くの薬剤が出荷調整になっており、薬剤確保に追われ、本来の薬剤師業務に支障をきたしている。必要がなくても納入実績を作らないと次の割り当てがなくなるということもあり、必要でないタイミングでの薬剤購入をせざるを得ない。また、患者へ代替案を提案しかねる場合等、診療に影響を及ぼしている。特に抗菌薬においては、本来狭域でよい治療を広域の抗菌薬を提案せざるを得ず、薬剤耐性菌への影響も危惧される。国全体として対策を講じていただきたい。

製造が数年たっても安定してこない理由が不明確。出荷調整のたびにメーカーを変更するため、マスター整備や連絡が煩雑となる。同じ薬剤のメーカー違いなどで、アレルギー登録などの漏れのリスクがある。

長く使われている良い薬品が毎年薬価が下げられることによりメーカーが製造中止に追い込まれて、患者さんに処方できない状況に困惑している。存続できる薬価設定をしてほしい。

供給不安定なものも多く、在庫管理に業務の多くの時間をかけている。過去半年くらいの実績による配分なのでしばらく購入していないと全く入ってこない。卸が土曜配達を止めたことも困っている。

薬剤不足の現状をもっと広報してほしい。

クラバモックスは5月中旬から、オラペナム小児用細粒、トスフロキサシントシル酸塩小児用、セフジトレンピボキシル小児用は6月中旬から全く入ってこなくなった。中耳炎の治療はどうすれば？

一度入荷しても、次回予定がないので、患者さんに継続して処方できない。

国の責任が大きいと思う。薬剤行政について抜本的に考えていただきたい。医薬分業にしたのに、医療機関に不利益が及ぶことは遺憾である。

薬がないことで、不調になった患者もいた。

## 6. その他、薬剤の供給状況についての意見 ※抜粋

とんでもない事態で薬物療法に難渋している、医師会ともっと社会に訴えるべきと思う。

ホルモン剤は患者さんによって副作用の発現が異なり、合うあわないがあるので、代替品は使いづらい。不妊治療中の患者さんに、HMG製剤が不足して困っている。

ジェネリック薬品の全国占有率の多くを占めるメーカーの薬事違反に伴う警告流通規制に端を発し、その後に発生するこのような状況を厚労省は予測できなかったのか。

突然出荷停止になる。その場合他メーカーは調整になり、新規では納品してもらえない。出荷停止の理由はわからないが、シェアをみて全体的に停止判断してくれればと思う。

業者担当の方によくしていただき、どうにか供給できている。

メジャーな薬が感染の流行に関係なく無くなるのはおかしいと思うので、準備をしっかりとしてほしい。

精神科薬でも(当院精神科病院)実績がなければ限定出荷のものは入らなく、急な処方で頻回にうごかないものなどが該当すると困る。現在かなりの薬が該当しているようで、今までになく医師も困惑して薬局も薬剤マスタ管理に時間を要す。

非常に困っている。特にキシロカインEは局麻として使用しているため。

抗菌薬の不足は子どもの生命にも関わるため、安定した供給を確立する必要があるのでは。

漢方薬も供給不安定なものが多い。

供給の情報を薬剤部だけに紙面でのみ郵送するだけで医局等への連絡もない製薬会社が多い。卸の担当者がいち早く連絡をくれるが、本来は製薬会社が情報共有をすべきではないか。もう呆れている。薬剤部から医師へ連絡し代替薬の連絡、代替薬の購入などを検討するが、新規介入が難しい状況であったり、業務がここ何年も煩雑である。病院がこの状況なので調剤薬局の方はもっと負担が大きいと思う。

厚労省は医療現場に混乱を来たさないように行政を行ってほしい。後発品処方を促進しておきながら製造停止にしたら薬品不足になるのは自明。